

人と街、文化をひとつにつなぐ まちづくり

「水の旅」をテーマとした 白山手取川ジオパーク

白山市は、平成17年2月1日、1市2町5村の広域合併により、県内最大の市域と第2の人口規模を有する都市として誕生しました。この地域は、白山に降り積もる



白山市全景

大量の雪を源として、手取川をはじめその支川や七ヶ用水、流域各地の湧水など、水が大変豊富な地域で、過去から現代、未来へと繰り返される水の循環が、地域内の多彩な自然や歴史・文化、産業を生み出しています。

平成23年9月、白山の山頂から手取川の河口までの白山市全域をエリアに、「山―川―海そして雪、いのちを育む水の旅」をテーマとした白山手取川ジオパークが、日本ジオパークの認定を受けました。

この白山手取川ジオパークは、広範囲に点在するジオ資源を「水の旅」というキーワードでつなぎ、観光の核として位置付けるほか、教育や防災にも生かすなど、幅広く事業を展開し、世界ジオパークの認定を目指しています。

※「ジオパーク」とは、火山や峡谷、扇状地など大地の成り立ちや地球の活動が感じられる場所を、その上に生きる自然や人とのかわりを含めて、教育や地域振興に生かす取り組みです。

ふる里白山を世界に発信する 「白山プロロードウェイ構想」

平成24年9月、日本三名山のひとつ「白山」のブランドづくりを戦略的に推進し、本市の魅力を全国に発信する新しい観光産業の枠組みをつくり出すため、観光ビジョン「白山プロロードウェイ構想」を立ち上げました。この構想を基に、地域に積み重ねられてきた歴史や文化、芸能、工芸、農林水産業、祭礼などの素材を活用し、「白山感得プログラム」と名づけた体験型旅行商品を発信しています。

また、今年度初のイベントとして、9月29日に本市と岐阜県白川村を結ぶ白山スーパー林道で、「白山・白川郷100kmウルトラマラソン」が開催されることが決定しました。

大勢のランナーが白山の雄大な自然に抱かれ、白山スーパー林道や世界遺産白川郷を快走することは、「白山」の名前を全国にアピールする絶好の機会となり、本市と白川村の広域観光連携が進展することを期待しております。

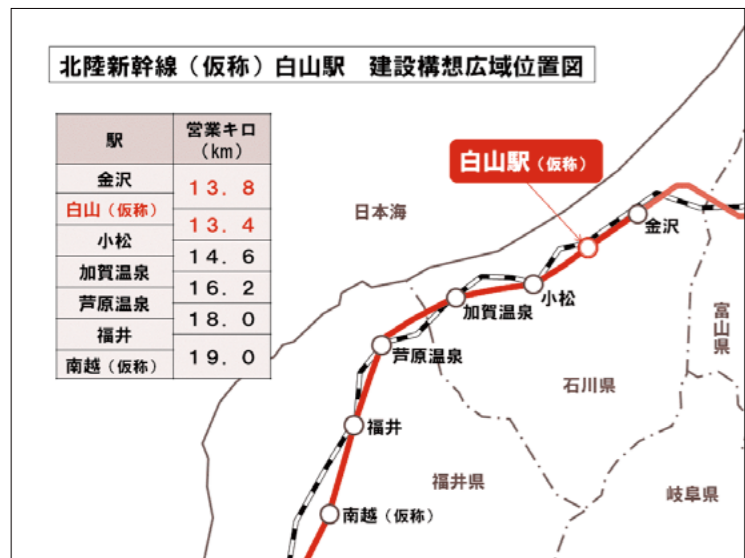
特急列車の停車がもたらした効果 (中核都市へ成長)

本市には、JR北陸本線が通っており、松任・加賀笠間・美川・小舞子の4つの駅が設置されています。このうち、松任駅は昭和57年に特急停車駅となり、現在は1日14本が停車しています。この松任駅に初めて特急列車が停車した当時は、手取川扇状地に田園地帯

が広がる農業が主要産業の都市でしたが、年を追うごとに停車する特急列車の本数も増え、それにより多くの企業が進出してきます。今や本市の製造品出荷額は4000億円強、また、従業者数は1万8000人強で、いずれも県内第2位の産業・経済の中核都市へと成長しました。

県下第2の都市に 新幹線停車駅を

現在、平成27年春の北陸新幹線



北陸新幹線(仮称)白山駅 建設構想広域位置図

長野・金沢間の開業に向け工事が進められており、本市では全国で4番目となる総合車両基地の建設が進められています。さらに、平成24年6月には福井県の敦賀まで延伸する工事が認可され、北陸3県の連携が一層強まり、経済の活性化が見込まれております。しかしながら、本市には新幹線駅の設置計画がなく、さらには在来線特急列車の廃止が見込まれることから、北陸新幹線の開通が地域経済に逆効果となることが懸念されて

います。そこで、隣接する能美市、野々市市、川北町の3市1町で「北陸新幹線(仮称)白山駅建設期成同盟会」を設立し、現状の交通利便性を確保するため、新駅の追加認可と新駅建設に伴うまちづくりを進める運動を展開しています。この新駅の利用圏域には、多くの企業と5つの大学があり、富山県・福

「白山市にしかない」個性の確立が目標

「白山」は多くの方に知られていても、「白山市」の知名度はまだまだ低いのが現状です。多彩な地域資源の存在を発信しながら、「全

井県との新幹線通勤・通学が見込まれることから、北陸地域全体の活性化にもつながるものと期待しています。

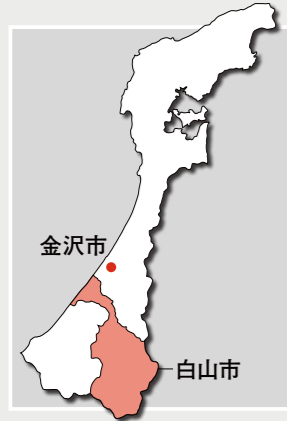
プロフィール

- ◆ 面積 755.17km²
- ◆ 人口 11万3320人
- ◆ 世帯数 4万376世帯

〔将来都市像〕豊かな自然と共生する自立と循環の都市(まち)
〔まちの特徴〕日本三名山のひとつである白山(白山国立公園)をはじめ、県内最大の流域を誇る一級河川手取川、白砂青松が続く日本海を眺望するなど、豊かな美しい自然に抱かれ



白山市長 作野広昭



〔特産品〕白山百膳、つるぎTKGY、あんころ餅、ぶくのぬか漬・かす漬、とちもち、堅豆腐、白山菊酒、加賀獅子頭、牛首細、和太鼓、美川仏壇
〔観光〕白山温泉郷、手取峡谷・綿ヶ滝、松任海浜公園、白山スーパー林道、白山比咩神社、パーク獅子吼、白山市立千代女の里俳句館、白峰重伝建地区
〔イベント〕美川おかえり祭り、横江の虫送り、CCZFフェスティバル、松任まつり、鳥越一向一揆まつり、ほうらい祭り、雪だるままつり

※面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。

わが

躍動とにぎわい やすらぎと ふれあいの交差するまちふつつ

はじめに

富津市は、房総半島の中西部東京湾側に位置し、南北40kmに及ぶ海岸線と、マザー牧場がある緑豊かな鹿野山や切り立った崖の鋸山など、海や山に囲まれた自然豊かなまちです。

東京湾に突出した富津岬は、関東の天の橋立といわれ、南房総国定公園にもなっています。

また、東京湾越しの富士山の眺望は、関東の富士見百景に選出されています。

メガソーラー

館山自動車道富津中央インターチェンジの南、浅間山地域は、昭和46年から55年まで、東京湾の埋め立てのために山砂を採取した跡地で、200haという広大な土



毎年3月に開催される千葉県民マラソン大会

オープンし、千葉県内で一番長く潮干狩りを楽しめます。南へ行くとは大坪山の山頂には東京湾を一望できる東京湾観音、開業50周年を迎えたマザー牧場、南房総国定公園の鋸山、長い海岸線には5つの海水浴場など数々の観光施設があります。また地元グルメの生のりや穴子、魚介類を食材に使った食のキャンペーンなどを行っています。

首都圏に近いという恵まれた立地条件にはありますが、南房総へ

地が30年以上にわたり、有効利用されず、課題となっていました。

この土地に、2つの事業者によりメガソーラー事業が実施されることになりました。太陽光発電施設の出力は国内有数で、合わせて57MWとなります。

今後は、この事業を核として、民間主導による雇用や交流機能を併せ持つ跡地全体の土地利用の実現に向けて取り組んでいきます。

定住奨励制度

本市は、近年、人口の減少が続いていることから、平成24年4月に定住奨励制度を開始しました。これは、新規に住宅を取得した人に7年間で最高126万円の奨励金を交付するものです。

東京湾アクアラインを利用すると都心から約60分で豊かな自然に

の通過地点となりがちです。多くの人に滞在していただけるように、今まで以上に魅力ある観光地として認知度を高め、訪れていただいた方に満足をしていただけるおもてなしをする必要があると考えています。

豊富なランニングコースと恵まれた環境

千葉県立富津公園周辺は冬でも温暖な気候と松林の防風林にこまめ風の影響を受けにくく、平坦で走りやすいコースです。観光庁ランナーズインフォメーション研究所に全国10カ所のランニングコースが認定され、その中の一つ、「強いココロをつくる道」として取り上げられています。このことに加え富津市民ふれあい公園内にある第3種公認陸上競技場での調整練習や起伏走に適したコースもあり、施設や練習環境に恵まれ、全日本実業団対抗駅伝や箱根駅伝に出場するチーム、オリンピックを目指す日本の一流選手や市民ランナーが練習を行っています。

選手たちは、主に大会前の最後の調整や走り込みをするための合宿を行っています。テレビ放送で

触れることができます。

この恵まれた立地条件を生かして、定住人口の増加を図っていきます。

企業誘致

市内には、千葉県企業庁が造成した工業団地「富津地区工業用地」があります。380haの工業用地には、52社の企業進出が決定(平成25年3月末現在)し、東京電力富津火力発電所、新日鐵住金REセンター、荏原製作所などが操業しています。

市では産業の振興および雇用の促進のため、企業誘致奨励金制度を実施しています。これは、市内に新たに工場などを新設する企業に対し、固定資産税相当額を3年間、奨励金として交付するものです。

チームを紹介する際、県立富津公園や市民ふれあい公園での練習の様子がしばしば放映されています。

特に、本年は富津市で合宿を行ったコニカミノルタが実業団対抗駅伝大会で、日本体育大学が正月の箱根駅伝大会で、それぞれ優勝しました。

また、毎年3月の第1日曜日には千葉県民マラソンが富津市総合社会体育館周辺をメイン会場とし、県立富津公園を周回するコースで

プロフィール

- ◆ 面積 205.35km²
- ◆ 人口 4万8063人
- ◆ 世帯数 1万9305世帯

〔将来都市像〕躍動とにぎわいやすらぎとふれあいの交差するまちふつつ

〔まちの特徴〕房総半島の中西部東京湾側に位置し、海や山に囲まれた自然豊かなまち

〔特産品〕トマト、メロン、食用菜花、



富津市長 佐久間清治



江戸前あなご、江戸前のみ

〔観光〕市内5カ所の海水浴場、県立富津公園、富津公園ジャンププール、富津海岸潮干狩り、東京湾観音、マザー牧場、鋸山

〔イベント〕富津花火大会、産業まつり、富津ふるさとまつり、千葉県民マラソン、富津はかりめ祭り、生のりフェア

※面積は国土地理院「全国都府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。



関東の天の橋立・富津岬を望む

本市では東京湾に面した長い海岸線や緑の山並みが続く美しい自然条件を生かした通年型の観光が楽しめます。

富津岬の北側には富津海岸潮干狩り場があり、毎年3月中旬に

行われます。全国各地からの参加があり、本市のスポーツ振興の一役を担っています。

結びに

私は、これからも誠実、対話、実行を基本理念に、「安心して子育てできるまち」「より富津市づくり」「いきいきとした富津市づくり」「安全・安心な富津市づくり」に力を注ぎ、富津市政の発展に全力で取り組んでいきます。

わが

自然と優しさに包まれた 笑顔と夢あふれるまち

日本の縮図、 モザイクのまち

琵琶湖の南東部に位置する湖南省は、古来、伊勢参宮街道や東海道などが通る交通の要衝で、現在も国道1号やJR草津線が東西を横断しています。東海道51番目の石部宿でにぎわいながら、高度成長期には60社以上のものづくり企業が集積する「湖南工業団地」を造成してきた湖南省には、全国47都道府県のみならず、南米やアジアなど多くの国に由来を持つ人が集まっています。

まちの中心を二分する野洲川に沿って田園が広がるのとは対照的に、山裾に連なる集落や丘陵地に広がる新興団地は人口構成を劇的に変化させ、現在は18%以下の高齢人口も8年後には25%に達する

急速な高齢化予想地域でもありません。ものづくりと物流を中心に発展してきた湖南省は、まさに日本の縮図であり、モザイクづくりのまちであるともいえます。

何もないまちを変える

「このまちは、なーんにもないまちです」

市外から来たお客さんに発せられた市民の言葉に一瞬、困惑しました。小さなまちに国宝建築物が4つもある「湖南三山」や、世界でイタリアと湖南省の2カ所しかないことで天然記念物に指定されている「うつくし松自生地」、猿飛佐助が生まれた戦国山城「三雲城址」や「石部金吉」で名を遺す東海道石部宿など、誇るべきものはたくさんありますが、それでも市民にとっては「何もない」のです。

そこで、市名をもじった名探偵コナンの作者の出身地・鳥取県北栄町との友好交流をはじめ、動物愛護と観光振興を目指す「こにゃん市長」が誕生、ついにはコミュニティバスをネコバスにして、目撃すると幸せのバスという都市伝説まで生まれました。今やダジャレ文化が根付きつつあります。

一人一人を包み込むまち

湖南省には、わが国の知的障がい者福祉の父といわれる糸賀一雄のメインドがあふれています。終戦直後の混乱期に、障がい児に関する「この子らを世の光に」と一人一人の個性や人格を尊重することを唱えた糸賀は、田村一二や池田太郎などととも、わが国最初の複合児童施設である近江学園を建設して、実践と発達保障を唱えまし



こにゃんバスとこにゃん

た。湖南省石部に移築された滋賀県立近江学園を中心に、隣接市を含め、福祉と医療、教育、就労などを結び付ける数多くの施設や機関が設けられました。

そうした社会資本を基に、現在では、本市は特別支援教育や発達障害者支援法のモデル市として全国から視察が絶えませんが、発達保障の立場から、共感と連帯でつくりだされる社会がそこにあるまちでもあります。

とりわけ、平成18年に制定した「障がいのある人が地域でいきいきと生活できるための自立支援に関する湖南省条例」に基づき、保健、福祉、医療、教育という市役所内で完結する分野にとどまらず、就労、地域生活という企業や地域との連携を必要とする横断的、連続的な施策の実現を図っています。

平成21年に開設した障がい者就労情報センターに加え、平成24年にはハローワークの窓口を市役所内に設置して福祉事務所と円滑な連携を確保したことで、企業の協力を得ながら一般就労が着実に拡大してきています。

地域循環のまち

一方、滋賀県内で最初にコミュニティ・スクールを導入するとともに、市内すべての小学校に学校支援地域本部が立ち上がり、学校や子どもたちを地域で包み込んでいきます。特に、本市は県内で最も外国籍市民の割合が高く、多文化共生施策を進めています。日本語初期指導教室の開設や通訳配置は、日本人児童生徒の学習権保障にもつながります。こうした取り組みは、全国最年少教育長の下で着実に進められています。

東日本大震災後、エネルギー政策が見直されたことで、地域に降り注ぐ太陽エネルギーをもとにした風や水も含めた自然エネルギーが地域独自の資源であるという考え方がようやく広がってきました。そのため、平成24年の自然エネルギー固定価格・全量買取制度施行に合わせて、「自然エネルギーは地域のもの」という理念を具現化した「地域自然エネルギー基本条例」を制定しました。

現在は、自然エネルギーが地域固有の資源であり、地域の活性化に活用されるべきであるという条



コナン市民共同発電所初号機

例の趣旨に沿って、市民共同発電所を建設し、障がい福祉の推進や地域特産品開発などと連携する地域循環モデルを構築中です。

また、これまでの自治会を越える広域の自治として、おおむね小学校区を単位とする地域まちづくり協議会を、平成19年度から21年度の3カ年間で自主的に立ち上げていただきました。単年度のルーチンを当番でこなすのではなく、中期計画に沿ってボランティアズ

に裏打ちされたまちづくりをする組織であり、その求心力を高めるために、毎年、地域活性化推進事業「さらめき湖南」事業費を、プレゼンテーションを審査して配分しています。まちづくり協議会のソーシャル・ビジネスの一つとして地域特産品開発が視野に入ってきました。

「地域おこし協力隊」も活動を展開し、ようやくまちの元気が見えてきました。

プロフィール

- ◆ 面積 70・49 km²
- ◆ 人口 5万5005人
- ◆ 世帯数 2万1935世帯

〔将来都市像〕ずっとここに暮らしたい！ みんなで創ろう きらめき湖南

〔まちの特徴〕天然記念物うつくし松や天平文化の薫る国宝湖南三山、野洲川の清流と豊かな緑に囲まれ歴史と文化が息づくまち



湖南省長 谷畑英吾



※面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。

わが

子どもたちが夢を描ける 輝くふるさとを目指して

日本の基幹産業を支える 産業と自然に恵まれたまち

市域の中心を遠賀川の支流の一つである一級河川の犬鳴川が流れ、美しい自然に囲まれる宮若市。その一方で世界最先端の技術を持つ自動車工場が立地する工業のまちでもあります。九州自動車道若宮インターチェンジや宮田スマート



両面に顔を持つ(一方は厄を追い出し、もう一方で福を招く)「追出し猫」(市のPRに向けて積極的に活動中)

インターチェンジがあり、福岡市と北九州市の両政令指定都市の中間に位置する地理的な好条件からも、多くの企業が立

地しています。

半世紀前までは、日本の近代化を支える石炭産業が栄えていました。イラストレーターや俳優として活躍する本市出身者、リリー・フランキーさんの著書『東京タワー オカンとボクと時々オトン』にも、本市の描写が出てきます。時代の流れと代替エネルギーの擡頭とともに石炭産業は衰退していきま

「青少年育成ゾーン」を生かして まちづくりそして人づくり

合併からの5年間は、市民の皆さんとともに夢を語り、そして方

向性を見極め、子どもたちが夢を描けるまちづくりの実現に向けて取り組んできました。

市域の西にある西鞍の丘総合運動公園内の2万㎡のグラウンドを芝生化、行政機能を有する多目的施設である若宮コミュニティセンター「ハートフル」の建設、市民の皆さんの念願だった図書館機能を有する生涯学習施設「宮若リコリス」、そして、筑豊地区では初となる公認規格を有する野球場「光陵グリーンスタジアム」など、都市基盤整備を進めてきました。

西鞍の丘総合運動公園芝生フィールドでは、毎週サッカーの試合の子約が殺到し、県内はもとより、さまざまな地域からお越しいただいています。サッカー少年にとってあこがれの一つでもあるフジパンカップやトレセンなどの大会も開

催され、施設環境については選手をはじめ、大会関係者からも絶賛の声を寄せていただいています。それは、高速道路からのアクセスが良いことや宿泊施設など、フィールド施設以外にも充実していることも要因の一つです。おかげで地域経済も潤うことになり、思わぬところから経済効果が上がっています。同じように光陵グリーンスタジアムにも、高野連や大学リーグから試合のオフアワーが入っています。

このような大きな大会を通じて、これまで触れることが少なかった一流の技術を持つ選手たちやその雰囲気を見たり体験したりする機会が増えます。このことは、次代を担う子どもたちにとって大きな財産となるでしょう。市域の西から東にかけて整備を進め、名付けた「青少年育成ゾーン」は、これからのまちづくり、そして人づくりに積極的にアピールし、活用していきたいと考えています。

教育先進都市へ 積極的により一歩前に

合併して8年目を迎え、第1次宮若市総合計画も後期基本計画へと入っていきます。これからの5年間は、「さらに積極的に、一歩前へ」進むための施策を行ってきたいと思っています。

前期基本計画で取り組んでできた学校再編では、市内4中学校を2校に再編し、充実した教育環境の中で「豊かな心で広い視野を持ち、未来にチャレンジする子どもたち」をはぐくんできていきます。2校のうち宮若東中学校は新築し、ほかに類を見ない充実した施設として本年度より開校しています。もう1校の宮若西中学校の施設も、平成28年度の供用開始を目指して、小中連携



クラブハウスも備えた2万㎡の「芝生フィールド」(西鞍の丘総合運動公園)

国から地方への権限移譲が進む中、私はさらに一歩進め、「地方から地域へ」と考えています。高齢化率が高い宮若市には、経験豊富な人材がたくさんいます。このようなアクティブシニアの皆さんをはじめ、地域の皆さんが活動しやすい環境をつくるために地域担当制度

中央から地方、そして「地域」へ

を導入し、職員が積極的に地域とかわつていくことで交流の起爆剤となればと思います。為替も円安傾向にあり、自動車関連企業にも明るい兆しが見え始めるなど、新しい風が吹こうとしています。このチャンスを逃さないためにも、後期基本計画に掲げた重点プロジェクトの実現に着実に取

プロフィール

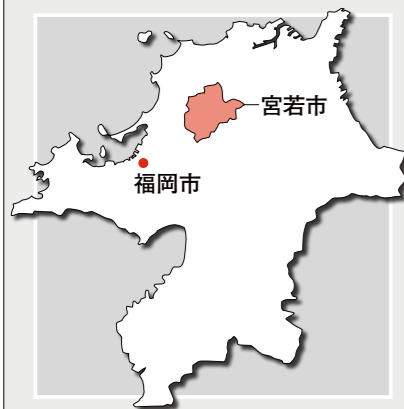
- ◆ 面積 139.99km²
- ◆ 人口 2万9938人
- ◆ 世帯数 1万3022世帯

〔将来都市像〕ひと・みどり・産業が輝く新たなふるさと
〔まちの特徴〕福岡市と北九州市の両政令指定都市の中間に位置し、自動車関連企業が多く立地する一方、犬鳴川が市域の中心を流れ、自然豊かで竹原古墳や三十六歌仙絵が代表するように歴史・伝統がしっかりと継承されているまち

〔市町村合併〕平成18年2月11日、宮田町、若宮町の2町合併で宮若市誕生



宮若市長 有吉哲信



〔特産品〕追出し猫、お米、ぶどう、たけのこ、焼酎若造、宮姫、キャロット(お菓子)、味噌、醤油、地黄卵(卵)
〔観光〕脇田温泉、竹原古墳(装飾古墳)、トヨタ自動車九州株式会社工場見学、犬鳴川河川公園、いこいの里「千石」キャンプ場、ドリームホープ若宮(産直施設)
〔イベント〕犬鳴川桜まつり、宮若全国俳句大会、ほたる祭り、若宮八幡宮放生会(隔年)、宮若ふるさと祭、日本一の大門松祭

※面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。